

領域	専門分野Ⅱ	授業科目	小児看護学Ⅱ	単位(授業時間/時間数)	1(28/30)
開講年次	2年次	開講時期	前期	授業回数	14回
担当講師名	非常勤講師		講師所属		
特記事項	—			—	

### 授業のねらい

小児看護学概論の既習知識を受けて、一人ひとりの子どもの権利を擁護し、子どもに安全で安楽な技術を提供することについて考えるとともに、子どもを主体的存在として捉え、健康障がいをもつ子どもとその家族に対する援助技術の意義と方法を理解する。小児看護を実践するうえで必要な基本的看護技術を習得し、看護実践能力の向上を図る。そして、具体的な子どもとの関わりを小児看護学Ⅲのプレパレーション演習につなげたい。

### 授業目標

言語能力が未熟な小児への観察力を身につけ、検査・処置を受ける子どもと家族への看護や対象のニーズに合わせた看護技術を習得する。また、生活経験の未熟さゆえ陥る不安や恐怖に対する、発達段階や状況に応じた関わり方を理解する。

### 授業概要

1. アセスメントに必要な技術
  - 1) コミュニケーション 2) バイタルサイン 3) 身体計測
2. 身体的アセスメント
3. 症状を示す子どもの看護
  - 1) 不きげん 2) 啼泣 3) 痛み 4) 呼吸困難 5) チアノーゼ 6) ショック
  - 7) 意識障害 8) けいれん 9) 発熱 10) 嘔吐 11) 下痢 12) 便秘 13) 脱水
  - 14) 浮腫 15) 出血 16) 貧血 17) 発疹 18) 黄疸
4. 検査・処置を受ける子どもの看護
  - 1) 与薬 2) 輸液管理 3) 抑制 4) 検体採取 5) 電法 6) 清潔 7) 経管栄養
  - 8) 排泄 9) 呼吸症状の緩和
5. 救命救急の技術
6. ハイリスク新生児と家族の看護

### 【担当からのメッセージ】

子どもの安全・安楽・自立を考慮し、最善の利益を守るための看護について一緒に学習しましょう。予習・復習をして積極的に授業へ参加しましょう。

### 授業の進め方

講義、演習、グループワーク

### 教科書

系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕小児看護学概論・小児臨床看護総論（医学書院）

### 参考図書

ナーシング・グラフィカ 小児看護学② 小児看護技術（メディカ出版）

### 評価方法

課題、演習・グループワーク参加度および終講試験（客観式テスト）の総合評価。  
試験時間は時間数に含む。